

研修名 乳児保育・教育

令和元年9月9日(月) 9:45~12:15

講演 「0歳児の発達と保育」

講師 京都文教短期大学 松田 千都 氏

1 講演要旨

- 1) 発達の主体としての子ども
- 2) 0～2歳児の発達をとらえる視点
人とのかかわりの中で
 - ・言葉の芽を育てる
 - ・生活の主人公となる「自我」を育てる
- 3) 0歳児の保育内容のイメージ
3つの視点 ・身近な人と気持ちが通じ合う
乳児からの働きかけを周囲の大人が受容し応答的に
関与する環境の重要性。乳児を主体として。
 - ・身近なものとかかわり感性が育つ
 - ・健やかに伸び伸びと育つ
- 4) 0歳児前半の発達と保育
 - ・自らの環境に働きかける新生児
 - ・生理的な「快」と心理的な「快」の結びつき
 - ・人や物と心地よく触れ合うための身体と手指
 - ・主体的に「見る」→触れたい知りたい世界のつながり
 - ・人に期待し人を求める心の育ち
- 5) 0歳児後半の発達と保育
 - ・姿勢変換と移動運動の発達
 - ・座位の安定
 - ・物を介して人とつながる
 - ・子どもと大人が思いを伝えあう関係
 - ・愛着管の輪の中で

2 感想

今回の講習を受けて、発達に合わせた保育がいかに重要であるか改めて知ることができた。0歳児とかかわる中でこちらからの働きかけだけでなく子ども自らの働きかけの重要性を知ることができた。この講義で学んだことを保育の現場で活用したい。

(記録 清仁保育園 荒井佑香)